

平成27年度「ひろしまの遺跡を語る」

鉄の古代史

— ひろしまの鉄の歴史 —

広島県を含む中国山地は、古代から豊富に産出する砂鉄を原料として、日本の鉄の一大生産地でした。明治には日本の鉄生産の90%以上を担うまでに発展するその基盤は、はるか昔の古代の技術にありました。古代の製鉄・鍛冶・鉄の道具の秘密に迫ります。



隔屋鉄山絵巻「鑄出しの場面」【安芸太田町・加計正弘氏蔵、国立歴史民俗博物館写真提供】

鉄の道具【鋸】 

鉄をつくる【製鉄】 

鉄を鍛える【鍛冶】 



鋸(前挽大鋸・近代)【(公財)竹中大大工道具館蔵】



職人歌合絵巻「鍛冶の場面」【国立歴史民俗博物館写真提供】

平成28年

日時 1月23日(土)

10時~16時(開場 9時30分)

会場 広島県民文化センター

広島市中区大手町1-5-3

●主催：(公財)広島県教育事業団・広島県教育委員会